

日退教発 15 - 04 号
(FAX4 枚送信およびメール便送付)
2015 年 4 月 16 日

日本退職教職員協議会
各単会 会長 様

日本退職教職員協議会
会長 西澤 清

日退教第 6 次沖縄交流「沖縄と連帯する日退教行動 2015」 のとりくみについて

辺野古の新基地建設は、工事が本格化しています。2014 年 11 月の那覇市長選挙および沖縄県知事選挙、そして昨年末の総選挙においても「新基地建設 NO」が確認されています。稲嶺進名護市長も、翁長雄志沖縄県知事も、基地に依存しない経済を主張しています。2015 年度の予算では、知事が辺野古新基地建設に反対していることを受けて、報復的に約束の交付金を減額し基地建設費を倍増させています。また、翁長知事の挨拶も受けないなど「政府に反対する者は許さない」と不遜な対応を行っています。15 年 1 月、埋め立て地域外に米軍は巨大コンクリートブロック（最大で 45 トン）を約 100 個も沈め、そこではサンゴが無残にも砕かれる様子が全国に放映されました。翁長知事は 2 月 16 日、沖縄防衛局が県の許可を得た区域外の海底に大型コンクリートブロックを設置し、サンゴ礁を破壊した可能性が高いとして、ブロックの移動や新たなブロックの設置などの停止を指示しました。これに対し、3 月 30 日、林芳正農水相が効力の一時停止を決定しました。那覇市議会は 4 月 16 日の臨時会で、辺野古新基地建設に伴う翁長雄志知事の沖縄防衛局への作業停止指示に対し、林芳正農水相が効力の一時停止を決定したことや政府の姿勢に抗議し、新基地建設の断念を求める意見書案を賛成多数（賛成 33 人、反対 4 人）で可決しました。住民の建設反対の座り込みも連日続いています。

日退教は、これまで「沖縄と連帯する日退教沖縄交流団」を 5 次にわたり組織し、沖縄県・高退教の仲間とともに時には辺野古キャンプシュワブ前や野嵩ゲート前の行動に参加し、交流と学習を深めるなど、「沖縄問題は、日本の問題である」として運動にとりくんできました。昨年 の 第 5 次交流には 37 名が参加し、オプションとして高江ヘリパット建設反対をたたかうテント村を訪問、交流・連帯を深めました。

2015 年度は沖縄と連帯するとりくみとして、「日退教第 6 次沖縄交流『沖縄と連帯する日退教行動 2015』」を下記の通り企画いたします。（本来であれば今年度定期総会での議論を踏まえて提案・とりくみとするところですが、去る 3 月のブロック代表者会議での議論を踏まえ企画いたしました。）

1 辺野古新基地建設反対・キャンプシュワブゲート前座り込み行動

(1) 日程

2015年5月から10月まで、月に1度の現地沖縄での日退教行動日を設定します。(第1クールとします。その後の行動については秋の段階で現地県・高退教と協議し提起いたします。)

具体的行動日

- | | | |
|-----------|--------------------|---|
| 5月17日(日) | 県庁前 <u>6:30</u> 集合 | (この日は沖縄平和行進の期間です。午前中に往復し、午後からの県民集会に参加ため、早朝行動とします) |
| 6月22日(月) | 県庁前 <u>8:45</u> 集合 | (9:00 出発) |
| 7月6日(月) | 県庁前 <u>8:45</u> 集合 | (この日は東京都高等学校教職員組合退職者が沖縄連帯ツアーを企画しています。その行動に合流します。) |
| 8月31日(月) | 県庁前 <u>8:45</u> 集合 | (9:00 出発) |
| 9月28日(月) | 県庁前 <u>8:45</u> 集合 | (9:00 出発) |
| 10月26日(月) | 県庁前 <u>8:45</u> 集合 | (9:00 出発) |

(2) 具体的行動について

朝9:00に県庁前を出発し、辺野古・キャンプシュワブゲート前へ移動、午後4時頃まで、現地での座り込みに参加します。午後4時に現地を出発し、午後6時ごろ空港・県庁前帰着します。(現地出発時間は参加者の帰り便により調整可能)

(3) 移動について

移動は現地県・高退教にお願いし、車を手配します。

(4) 参加申し込み

参加希望者は日退教に事前登録します。(保険の関係)

(5) 費用

団としての費用はありません。往復交通費・宿泊費は参加者それぞれで手配ご負担ください。(ただし7月6日は貸し切りバス代が3000円程度必要です。他の行動日も参加者数によりレンタカー、チャーターバスを必要とするときは経費がかかります。)

(6) その他

- ① 日退教事務局は極力参加し把握いたしますが、参加できないときは沖縄県・高退教事務局にお願いします。
- ② 今次交流は参加者と現地退教との懇親・交流の場の設定はありません(除く7月)。ただし、前日午後5時30分に県庁前に集合し、参加者の自主的交流の場を設定します。
- ③ 各単会独自に沖縄現地交流を企画される場合は、日退教事務局にご連絡ください。(これまで直接現地との交流をお持ちのところはその必要はありません。)

2 「沖縄 今現地でのたたかいと私たち」(仮題) 単会・ブロック学習会の開催

- (1) 各単会・ブロックは沖縄のたたかいに連帯する学習会を企画・設定します。
- (2) 沖縄県・高退教へ講師依頼する場合は日退教事務局へご連絡ください。(講師は県・高退教会員以外の者も可とする。)
- (3) 派遣要請は日退教事務局を介して行うこととし、招請にかかる費用(旅費)の一定額を単会・ブロックに日退教から補助します。(1件あたりの補助額を3万円とします。予算上1ブロック1単会分9件計上しますので、企画の段階で日退教事務局にご確認ください。)

3 「辺野古基金」へのとりくみ

- (1) 今後現地沖縄県・高退教と協議し具体的とりくみを別途要請します。

以上



2014年9月 日退教第5次沖縄交流団 辺野古・キャンプシュワブ前テント村での座り込みに参加

日退教第6次沖縄交流「沖縄と連帯する日退教行動2015」

「辺野古新基地建設反対・キャンプシュワブゲート前座り込み行動
参加申込み

申し込み日 2015年 月 日

単会名

参加者お名前 (年齢)	(〒) 住所	電話 (自宅・携帯)	Fax
()	(〒)		
参加日 (参加希望日に○をつけてください)	5月17日(日) 6月22日(月) 7月6日(月) 8月31日(月) 9月28日(月) 10月26日(月)		
()	(〒)		
参加日 (参加希望日に○をつけてください)	5月17日(日) 6月22日(月) 7月6日(月) 8月31日(月) 9月28日(月) 10月26日(月)		
()	(〒)		
参加日 (参加希望日に○をつけてください)	5月17日(日) 6月22日(月) 7月6日(月) 8月31日(月) 9月28日(月) 10月26日(月)		

注 締め切り はとくにありませんが車手配の関係で各月行動日10日前までにご連絡ください。

日退教 FAX 03-5275-2081

問い合わせ 日退教TEL 03-5275-2197